

津久井中央ロータリークラブ



事務所・例会場

相模原市緑区中野 1029 津久井商工会館 2F

TEL 042-780-0201 FAX 042-850-4830

例会日 毎週木曜日 時間 12:30~13:30

会長 前沢弘之 幹事 井上 旭



第 1161 回 平成 30 年 10 月 18 日(木曜日)《12》

司会 杉本信一 SAA 会長 前沢弘之 会長 齊唱 奉仕の理想

会長挨拶 前沢弘之会長

皆さん、地区大会(10月13日~14日)はいかがでしたか。具さんには、姉妹地区のお客様の接待と通訳をしていただきました。どうでした？

以前、ガバナー公式訪問と地区大会は、ロータリーがインターナショナルであることを国内にいながらにして感じることができる貴重な機会だという話をしましたが、特に新入会員の池田さん、感じていただけましたでしょうか。

(物足りなかったとしたら)今日は、米山奨学生のダン・モーモーさんをお迎えしていますので、ロータリーの国際奉仕や国際親善を考える良い機会にできればと考えております。

さて、私は国際性ほぼゼロですので、今日は、(全く関係のない)「遊び」について話をしようと思います。

皆さんは、どんな遊びをしていますか。私は、ここ数十年、毎年東北へ魚釣りに行くことと、秋には山梨の山奥へキノコ狩りに行くこと…、あとは、まあ、飲むことですかね。

ところで、そんな風に、誰かが「私、こんなに遊んでます」と人前で言うのを聞くと、ある種のいやらしさを感じませんか。それが「飲む、打つ、買う」のようなことでなくて、お茶や旅行や芸術鑑賞のようなものであっても…。それはおそらく、「あれは遊びだったのね」というときの様なある種の不真面目さを感じるだけでなく、言外に「私にはそれだけの金銭的・時間的余裕があります」という含みがあるように感じるからイヤラシイのです。遊ぶということには、不真面目さの他に、仕事や金銭といった日常の事柄から距離を置く、経済活動から自由であるといったある種の超越のイメージがあるにも拘わらず、「遊んでいます」という言葉で「それだけの金とヒマがあります」と言いたいのだとしたら、それは、その人が(超越どころか)金銭や時間という、まさに仕事の、経済的価値観に深く囚われていることを図らずも暴露して

しまうわけです。

「誇示的消費」という言葉があります。見せびらかす、ひけらかす消費ということです。必要によってではなくて、ひけらかすために、お金を湯水のように使うわけで、もともとはアメリカの召使(サーバント)が何人もいるような有閑階級(レジャー・クラス)が想定されていたようです。…が、20世紀後半に入ってそれが大衆化し、必要に基づかない消費なんて、今やごく当たり前になっていますね。召使のように旦那が働いて、カミさんや子供が、やたら必要もないものを買うとか、流行りのものに飛びつく、有名店に行列する…。

(そういえば、地区大会初日の指導者育成セミナーで、「サーバント・リーダーシップ」という複雑な言葉が出てきました。支配する、強制するという形でなく、能力やモチベーションを高めるためにむしろ部下に仕える、支援する。そして導くというリーダーシップのこのことのように)。

誇示的消費…イヤナ感じですが、誰にでも思い当たる節がありますよね。私たちには差異に対する深い欲求(私は私であって、人とは違うと確認したい。できれば他人より優越していると確認したい。それを他者から承認されたいという、ほとんど病と言ってもよいような強い欲求)があるのですが、今日の高度消費社会において、我々のような凡人が他人との違いや優越を示すには、何を買って、どこへ行って、何をするか、ほとんど消費行動でやるしかない。そういう状況が逃れようもなくあるわけです。ファッションの世界、モードの世界はまさにそれですね。多品種少量生産というの、その流れだということができます。思い切り大衆化すると100均になるわけです。病理現象が、多重債務問題や買物依存症ですね…。

もっと言えば、本当は、ほとんどドングリの背比べなのに、誰も彼もが差異を求め、他者承認を求めているわけですから、その反動として、自分はちょっと上にいると思っている人は出る杭を打とうとし、人並みからちょっと下かなと思っている人は、他人の足を引っ張ろうとしてしまうわけです…(他者承認欲求の反動の力学とでも言えばよいですかね。)

【出席報告者 田畑和久委員長】

現在会員数	出席対象数	本会出席数	本会欠席数	本会出席率	前回修正出席率	前々回修正出席率
16	16	12	4	75.00%	100%	81.25%
本日欠席者	八木会員、森田会員、水野会員、高橋会員					

少し横道にそれます。私たちは、工業化・産業化によって生活が豊かになって余暇が増えて遊ぶことができるようになった。原始時代の狩猟採集生活では、食べることに精いっぱい遊ぶことなんかできなかったはずだ…と思いがちですが、どうもそうではないようです。狩猟採集民の食物の確保に要する時間は、一日あたり大体3～4時間とされています。あとはヒマで、暗くなったら眠るから、睡眠時間もたっぷりとっていたらしい。能力以下に働く「過少生産構造」のもとで自由を享受していたわけで、「彼らは時間の余裕がなくて文化を作れなかったのではない。眠り過ぎて文化を作れなかったのである」と言う学者もいます。もっとも、わが国の縄文時代の土器や土偶（火焰型土器、縄文のビーナス、遮光器土偶…）を見ると、あれは非常に優れた文化と言うほかありませんね。縄文時代は非常に豊かで幸福な時代だったから何千年も続いたのではないかと、見直され始めています（「最初の豊かな社会」という人もいます）。火焰型土器なんて、あれは道具としては非常に使いにくそうで、全く機能的ではありませんね。でも、美しい。もしかしたら、縄文人は、使い勝手だとか、効率だとか、そんなことはどうでもよくて、どうしたら面白いのか、見た人を驚かすことができるか、自分の中の表現欲求を満たせるか…そんなことばかりに、夢中だったのかもしれない。もしそうだったとしたら、縄文人の平均寿命は20年かそこらと言われているのですが、我々に比べてどれほど濃密で幸福な時間を生きていたことでしょうね…。

さて、先程、遊びは不真面目さというマイナスイメージを伴うという話をしました。これは、仕事と遊び、あるいは労働と余暇という形で対概念として捉え、働くことは良いことで、遊ぶことは悪いこと、何やら後ろめたいことという価値観があるからです。

ところが、この遊びに積極的な価値を認めた人がいます。ヨハン・ホイジンガーとロジェ・カイヨワという二人の大御所です。

ホモ・ルーデンスという言葉を知ることがあります。遊ぶヒトという意味で、ホイジンガーが作った言葉です。現生人類（＝私たち）の生物としての学名は、ホモ・サピエンスですね。知恵あるヒトという意味です（「ホモ」とはここではヒトと言う意味）。人間の生き物としての特徴を知性に求めているわけです。ホイジンガーは、これにある種の異議を唱えて、遊びこそが人間を特徴づける根元的なものであり、遊びこそが文化を作るものであると考えました。「真面目に働くことばかりが良いわけではないよ」と言ったわけです。

一方、カイヨワは、遊びに関する理論を精緻化して、人間の文化の在り方を考える上で、「聖」「俗」「遊」の三項対立関係なるものを提起しました。簡単に言うと、「聖」とは、儀式や祭りの世界です。厳粛だったり、清らかだったり、形式や秩序を重んじたりする世界。但し、その一方で、熱狂や暴力や過剰な浪費がなされたりもする場面。「俗」とは、日常生活や俗世間の領域です。私たちの仕事や家庭生活や近所づきあいの場面ですね。聖なる世界は、その日常を再生し（気持ちを新たに…）、日頃の不満や鬱憤のガス抜きをするような場面です。そして、「遊」はこのどちらにも入らない。聖も遊も、どちらも非日常性という点で俗と対立しますが、「遊」は、自由で（失敗が許される）、非生産的で、未確定的で（結果が分からない。だから面白い）、真面目でなかったりする点で、聖と違う。

私たちは、この「聖」と「俗」と「遊」の世界を行き来しながら生きているわけです。その力点は人それぞれであるとしても、その行ったり来たりが、人間の文化を創造する、

というか、人間の文化は、その聖一俗一遊のダイナミズムの所産であるというわけです。

さて、では皆さん、ちょっと考えてみて下さい。ロータリーは、聖か俗か遊か。

まず、日常生活の場面ではありませんから、俗ではありませんね（佐藤さんを除いて）。…もつとも、近年の職業分類や出席率の緩和、定款細則の内部自治領域の拡大、会員増強に関する方針などを考えると、ロータリーは聖の領域から俗の領域にシフトしつつある…なんて言ったら穿ち過ぎですかね。まあ、（つまるところ、その人がロータリーに何を求めるかによるわけですから）人それぞれで良いと思います。私は敢えて「ロータリーは社会の『遊び』である」と言いたいと思います。この場合の「遊び」は、ハンドルとか歯車の遊びです（「余裕」とか「ゆとり」と言い換えてもよいかもしれません）。車のハンドルには遊びが無いと危険ですし、歯車に遊びが無いと機械がうまく作動しません。同じように、社会にもこの「遊び」のようなものが無いと、危険だし、うまく回って行かないのではないかと。

まあ、あとはそれぞれに考えてみて下さい（自分はロータリーにいったい何を求めているのか。聖的なものなのか、俗的なものなのか、それとも遊的なものか…考えてみると、きっと面白いですよ）。

遊びをせむとや生まれけむ 戯（たはぶ）れせむとや生まれけむ 遊ぶ子供の声聞けば、我が身さへこそゆるがるれ（梁塵秘抄）

以上、「遊び」について、何やら肩の凝るお話でした。

幹事報告 井上 旭幹事

ロータリー関係受領書類
ガバナー事務所

9月北海道胆振東部地震への義援金協力依頼

2021-22年度ガバナー・ノミニニー選出、候補者提案に関する通知

2019-20実施年度向け第1回地区補助金説明会開催案内

「職業奉仕月間」卓話者派遣案内

2019規定審議会立法案提出依頼

インターアクト年次大会登録案内

ガバナー訪問お礼状

END POLIO NOW シャツ再受注案内

第53回神奈川県ロータリアン親睦テニス会開催案内

10月のロータリーレート 1ドル=112円

ゲスト紹介

ダン モウモウ 様 米山奨学生
相澤 宏紀 様 相模原橋本 RC



八木美佐男 様 相模原グリーン RC



相模原フェスタイベントPR 八木 美佐男様

相模原グリーン RC では障害者とともに歩む社会の実現に向けて一歩前へ進むということで、10.20(土)、21(日)に相模原フェスタ(相模原総合補給廠返還地)の会場にて障害福祉サービス事業所の自主製品の販売や障害者と市民が一緒になったワークショップ等を実施します。

矢部にありますセ・ラ・セゾンと障害福祉サービス事業所とのコラボで製造したお菓子の試作品をお配りしまして、これを今後商品化することで障害者の賃金向上に努めていきたいと考えております。また、ワークショップも実施、障害のある方とともにオリジナルバッグ、木工メモスタンド作りなどを行います。

そして、障害者の方に描いて頂いた絵を、桜美林大学の学生さんにデザインをして頂き、オリジナルのテントを作成しまして、今日会場に設置して参りました。

当日は相模原フェスタにおいて、ラーメンフェスティバルも実施されますので、ロータリアンの友情でご参加頂けたらと思います、ご案内に参りました。お時間を頂きまして、ありがとうございました。

米山奨学生卓話 ダン・モウモウ様

相澤宏紀米山奨学・学友委員より紹介

相模原橋本 RC の相澤でございます。昨年は学友会の会長をやっている韓国の宋君をお連れしました。ちょうど一年前ですね。今年は中国のダン・モウモウ君が卓話をします。

佐藤地区編集副委員長がいらっしゃるこのクラブで、「米山」とはなどと私の口から申し上げることはできませんが、敢えて言わせて頂くと、米山の費用は皆さんのご寄付で年間約 15 億円程あります。

こちらのクラブさんからは十分ご寄付を頂いておりますが、立場上改めてご寄付のお願いをしながら奨学生卓話前座の挨拶とさせていただきます。よろしくお願い致します。

皆さん、こんにちは。青山学院大学の段毛毛です。

まずは米山奨学金を頂いたことに感謝致します。

私は中国の四川省の出身です。パンダが有名なことと、辛い物を好む地域です。大学の専攻は天文学で、星の観測や星に関するデータ解析、人工衛星を作って打ち上げる勉強をしています。

趣味は読書と料理です。よく四川の辛い料理を作って、他の国の学生と一緒に食べています。

2011年に中国の高校を卒業して、日本に留学する事が決まり、青山国際教育学院で2年間日本語を勉強しました。その後、青山学院大学に入学し、今は青山学院大学院に行っています。

私が卒業した中国の高校はとても大きくて、学生と先生を合わせて1万人以上の人数で、同級生は2千人位いました。

青山学院大学の相模原キャンパスはとても綺麗なキャンパスで、周りも店など無く勉強するにはいい環境だと思います。

最初に日本に来た時は共立国際交流奨学財団の学習奨励寮に入っていました。そこは日本人と外国人が半分ずついるという感じで、日本人の学生からも日本語を教わりました。また、寮長さんと寮母さんがいまして、本当にお世話になりました。今でも時々会っています。

日本に来て色々な活動にも参加しました。東日本大震災の後、福島に行ってボランティア活動もしました。その時はまだ日本語がよくわからず、台湾の友達に通訳をしてもらいました。そこで初めてキリスト教の信者の人と出会い、色々な話を聞く事ができました。

青山学院大学に青山ボランティアステーションという組織があります。その活動で仙台に行き、中学生に数学、物理、英語を教えるボランティアをしました。自分が中学生の時は、朝から晩までずっと勉強で土日も授業がありましたが、日本の中学校は授業が多くなって部活もあり、とてもいいと思いました。

交換留学生をサポートする、日本語を英語にまたは英語を日本語に訳すボランティアもやっています。交換留学生を川崎大師に連れていったこともあります。

大学院に入る時に米山奨学生になりまして、そのおかげで色々な活動に参加することができました。高尾山には毎年行っていますので、随分詳しくなりました。

日本に来て初めてスキーを経験しました。雪を見るのも初めてでした。四川省では30年以上前は雪が降ったこともあったようですが、私が生まれてから降っていません。スキーは3日間の予定でしたが、慣れてないため1日目で疲れてしまい、その後はできませんでした。

将来については、もっと宇宙や地球について勉強したいので、博士になり大学の教授になることを目指したいと思っています。



スマイル報告 田畑和久委員長

『スマイル報告 田畑和久委員長』



相模原橋本 RC

相澤宏紀 様

お世話になります。本日は中国の奨学生ダン・モウモウ君の卓話に随行でお邪魔しました。よろしく御願い致します。

相模原グリーン RC

八木美左男様

「元気ですかー！」本日は地区補助金事業「障害者とともに歩む社会の実現に向けて前へ」の PR におじゃましました。よろしくお願ひします。

津久井中央 RC

前沢弘之会員

相澤さん、八木さん、ダン・モーモーさん、本日はありがとうございます。ダンさん、ステキな経験をして来られましたね。楽しいお話をありがとうございました。お客様の皆様、ようこそ津久井中央へ。10月に入りまして色々な事業が続きます。今週の土曜日は地元の神社の秋祭りです。また一杯飲めますが、体に気をつけます相澤さん、八木さん、ようこそ！米山奨学生ダン・モーモー君ようこそ！中国と日本のかけ橋になって下さい。謝々(シェーシェー)！りえさん、おまんじゅうありがとう。謝々(シェーシェー)

小川洋一会員

吉野賢治会員

小山里枝会員

地区米山奨学委員会相澤委員、奨学生の段毛毛さん、本日はありがとうございます。先日の地区大会、お疲れ様でした。私事で恐縮ですが…地区大会当日、初めて使うかわいい傘を水野さんの車に置き忘れたのですが、そのことが思い出せなくて悩みました。あぶないです。傘…田畑さん、ありがとうございました。本日の CD ♪は 10/25 発売の私の好きなジャズピアニスト、岸ミツアキさんの CD で一す ♪ これから発売で一す。

佐藤祐一郎会員

モウモウ君、相澤さん、八木さん、ようこそいらっしゃいました。本日は宜しく御願ひ申し上げます。地区大会、皆さまおつかれ様でした。

山崎和彦会員

モーモーさん、相澤さん、八木さん、ようこそ。21日の月曜日、城山のもみじ祭りに LPG 津久井支部で保安キャンペーンを行なっています。アンケートに答えると新潟産こしひかりがもらえます。ぜひ遊びに来て下さい。

具 尚禮会員

普通の人の半分はよいと病院で言われているが、その半分がわかりません。前沢会長、いつもよい話をありがとうございます。日々学びます。

池田豊文会員

森田さん退院おめでとうございます。無理されず、ご自宅でゆっくりご静養して下さい。

田畑和久会員

本日の卓話でおいで頂いた米山奨学の方々、ようこそ津久井の山の中へ。先日の地区大会へ参加された皆さん、ご苦労様でした。昼食の魚、夜？のお酒、おいしく頂きました。会長の話のように遊び心のない仕事はつまらないです。遊びを通じて得るものもたくさんあります。皆様、いっぱい遊びましょう。